

有志舎の新刊です。2013年12月下旬発売

「講座 東アジアの知識人」全5巻の第3回配本です！

「講座 東アジアの知識人」第3巻

編集委員：趙景達(千葉大学教授)、原田敬一(佛教大学教授)、村田雄二郎(東京大学教授)、安田常雄(神奈川大学特任教授)

「社会」の発見と変容

—韓国併合～満洲事変—

A5判・ハードカバー・370ページ 本体価格 3,600円

第3巻 目次

(章タイトル：執筆者)

I 第一次大戦と東アジア

李大釗：石川禎浩

吉野作造：藤村一郎

孫秉熙：林雄介

大杉栄：梅森直之

メルセ：中見立夫

II 文学者の問いかけ

夏目漱石：見城憐治

魯迅と周作人：尾崎文昭

李光洙：波田野節子

柳宗悦と白樺派の人々：中見真理

III 歴史学と民俗学

柳田国男：佐藤健二

伊波普猷：富山一郎

顧頡剛：竹元規人

文一平と鄭寅普：鶴園裕

IV 女性と社会

平塚らいてうと与謝野晶子：金子幸子

山川菊栄：鈴木裕子

羅恵錫：宋連玉

丁玲：江上幸子

V 教育と思想

綴方教育の教師たち：船橋一男

胡適とデュエイ：章清(訳 森川裕貫)

安昌浩：李省展

1920年代、日本では大正デモクラシーのもとで「改造」が流行語となり、「民衆」が歴史の表舞台に躍り出て、それによって逆に知識人のあり方が問われるようになりました。そして、民本主義・社会主義など、この時代を席卷した様々な思想は、東アジア各国間で連鎖し合い、それぞれの地域での伝統を踏まえた同名異義の個性的な思想が生み出され、それがまたブーメランのように投げ返されてお互いに影響を与えあったのです。

これまで日本発の一方的な伝播だと考えられがちだった20世紀初頭の東アジア思想に対する見方を転換し、その位相の違いを描き出す第3巻です。

<全5巻の構成>

第4回配本は第4巻で来年2月刊行予定

毎月ないし隔月で1点ずつ刊行予定

※第1巻 文明と伝統社会 —19世紀中葉～日清戦争—

※第2巻 近代国家の形成 —日清戦争～韓国併合・辛亥革命—

第3巻 「社会」の発見と変容 —韓国併合～満洲事変—

第4巻 戦争と向き合って —満洲事変～日本敗戦—

第5巻 さまざまな戦後 —日本敗戦～1950年代—

※印は既刊です。内容見本送呈

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10、宝栄ビル403 (有)有志舎 電話:03-3511-6085

番線印・ご担当	ご注文数	発行：有志舎	分野
		講座 東アジアの知識人 第3巻 「社会」の発見と変容 趙景達・原田敬一・村田雄二郎・安田常雄 編 本体価格 3,600円 新刊 ISBN978-4-903426-79-2 C1020	歴史学(近現代) 弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は「永滝了解」として返品下さい。

ご注文は 有志舎 担当：永滝(ナガタキ)まで FAX:03-3511-8484

当社商品の取扱取次はトーハン・JRC・八木書店ですが、日販・大阪屋ほか、いずれの取次でも上記取次経由で送品します。なお、JRCからも同じ注文書が重複して送られた場合は、この弊社あての注文書だけをご返信いただければ結構です。